

1

No. 67

千代田区報

昭和34年1月25日

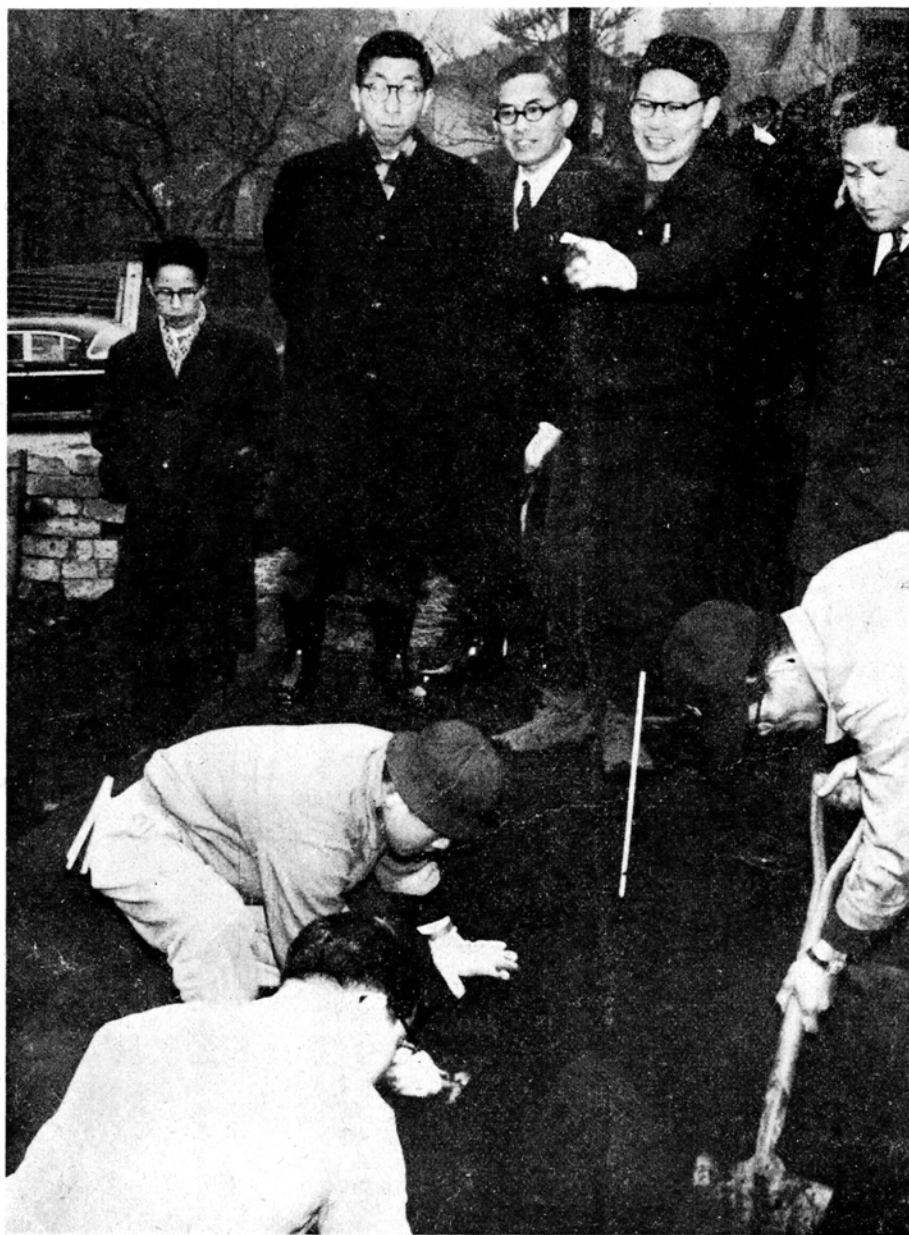
千代田区役所

発行

九段33局 0151
8531

毎月1回

三笠宮さま九段上貝塚をご視察



九段坂、靖国神社前の住宅公団アパート建設現場に、昨年十二月、古代住居跡が発見され、弥生式土器や、沢山の貝が発掘されました。これは、巾四メートル、深さ一・五メートルのたて穴式住居で、弥生式後期（約千六、七百年前）のもので推定され、都内では珍らしいものです。千代田区史編さん室では、区史編さん委員和島誠一氏の指導の

もとに、土木課職員、区立小中学校の社会科の先生、東大、早大大学の学生などの協力で、一月十四日から一週間にわたり、この遺跡の本格的な発掘に当りましたが、十六日には、考古学にご造詣の深い三笠宮さまが、同現場をご視察になりました。（左から二人目三笠宮、右へ村瀬区長、和島氏）

新春を迎えて

千代田区長 村瀬 清

希望新たな昭和三十四年の新春を迎えるに当り、区民各位に一言ご挨拶を申し上げます。

さて、旧年を顧みまするに、国際的には中近東問題、台湾海峡問題など、幾多国際緊張の場面に直面致しましたが、幸いにも、戦いを交えることなく、平和な新年を迎えることができましたことは、何より喜ばしいことであります。

一方、経済的には、いわゆるナベ底景気として、特に、著しい上昇を望むことはできませんでしたが、前年より引続いて行われた国際収支改善措置や、大陸貿易未解決などの結果として、また、やむを得ないものであります。しかし、それにもかかわらず、米国をはじめ

年頭の辞

千代田区議会議長 小林 兵庫

敬愛する区民の皆様、明けましておめでとうございませう。本年は、国民の待望久しかつた皇太子殿下のご結婚されるよい年でございませう。区民の皆様には、いよいよご健勝にて、希望新たな新春を迎えられたことと存じます。

私も明るい、住みよい、千代田区の建設に強い希望を抱いて新年を迎えます。

さて、旧年を顧みますと、一昨年半ばより後退した景気は、依然

め、世界経済の一環として、漸次好転の方向に向かいつつあることは、新春とともに、新しい希望を持てるものと思ひます。

さて、わが千代田区は、昨年人類永久の平和と繁栄とを確保する世界新秩序建設への願望を披瀝する為、都内最初の世界連都都市宣言をいたしました。宇宙時代に入つて、各国競つて宇宙兵器や人工衛星を打上げる時代に入つて、この念願こそ一日も速やかに実現さすべきものと思ひます。

本区は、一昨年より都心区百年の大計として、高層不燃化への努力を続けて参りましたが、関係各方面の理解と共鳴を呼び、予想以上の成果を挙げつつあることは感謝に堪えません。実現の途に就いたものの最早百数件に達し、近い将来本区の相貌は一変するでありまし

として好転せず、わが国の経済はまことにきびしいものでした。

しかし、本年は内外経済の見通しは明るく、輸出の積極的伸長によつて、大いに国力の発展が期待できます。

ひるがえつて、わが千代田区は、区民の絶大なるご協力、ご支援により、教育・土木・民生・商工、及び観光行政など、各般に亘り内容充実の域に進みましたことは、まことに感謝にたえないところでございませう。

本区は、常に最低の行政費をもつて最大の効果をあげるよう努力し

よう。

右に併せ、将来に集中する地下鉄網、高速道路、国営増設などの計画に對しても、本区将来の発展を考へて、合理的に對処致したいと考へております。

また、待望の全区民を対象とする国民健康保険も、いよいよ本年は実施できるかと思ひますので、大いに期待し準備しております。これこそ区民に劃期的な福祉をもたらすものと確信いたします。

右のような大問題に對処して、円満に区政を運営する為には、相変らず、区民各位の深いご理解と、ご協力を願わなければならぬと考へております。

迎春に當り、区民各位のご健康とご活躍を衷心からお祈り申し上げます。

ております。

また、先般区議會議員は、千代田区に教育資金を寄附したことにより、はからずも全員そろつて政府より紺綬褒章を賜りました。これは全国でもはじめてのことと、一同感激し、ますます区政伸展のため努力する覚悟を新たにいたしました。

何卒、区民の皆様におかれましては、一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に際し、区民の皆様のご多幸と弥栄をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

選挙権者 六百三十五人 増える

昭和三十三年九月十五日現在で調査された基本選挙人名簿がこのほど確定した。これによると、昭和三十三年度の区内有権者数は、男が四万二千二百二十三人、女が三万五千三百三十一人。合せて七万七千三百五十四人である。

これを前年度に比較すると、男が五百四十四人、女が九十一人それぞれ増え、合計六百三十五人の増加となっている。

投票区別有権者数、及び、前年度との比較は次のとおり

前年度との比較

投票区名	年度別 男女別	昭和 33 年 度			昭和 32 年 度		
		男	女	計	男	女	計
第 1 区	投票区	536	509	1,045	639	526	1,165
第 2 区	投票区	1,921	1,776	3,697	1,946	1,785	3,731
第 3 区	投票区	3,098	3,349	6,447	2,137	2,260	4,397
第 4 区	投票区	2,938	3,681	6,619	3,704	4,553	8,257
第 5 区	投票区	5,394	4,104	9,498	5,521	4,216	9,737
第 6 区	投票区	3,837	3,215	7,052	3,835	3,257	7,092
第 7 区	投票区	3,215	2,956	6,171	3,223	2,954	6,177
第 8 区	投票区	2,935	2,556	5,491	3,015	2,519	5,534
第 9 区	投票区	2,011	1,770	3,781	2,022	1,798	3,820
第 10 区	投票区	3,635	2,956	6,591	3,501	2,929	6,430
第 11 区	投票区	2,421	1,640	4,061	2,293	1,630	3,923
第 12 区	投票区	4,745	2,437	7,182	4,426	2,448	6,874
第 13 区	投票区	2,313	1,576	3,889	2,238	1,559	3,797
第 14 区	投票区	3,224	2,606	5,830	3,179	2,606	5,785
合 計		42,223	35,131	77,354	41,679	35,040	76,719



は た ち の 声

区教育委員会では、成人の日を記念して、今年20才を迎える人達から作文「はたちの声」を募集しましたが、集まつた22編の中から、神田三崎町 1-1 米倉伸之君、神田錦 2-7 の乾 博子さんの作品が選ばれ、15日千代田公会堂で開かれた「成人の日を祝う新春家族大会」で発表されました。ここにその入選作を掲載いたします。



非凡なる凡人になるために

米 倉 伸 之

「民族は上からではなく、下から更新される。無名のひとびとの中から出現する天才こそ、人民の若さと精力とを更新する天才だ。」(ウィルソン)

ともいうべき人間になりたいと思ふ。そして、この日本という国の一小市民として日本の発展、世界の平和のための礎石になりたいと思ふ。

一九五九年——広く眼をそそぐと世界の二大勢力が互いにその牙をみがきあい、いつ戦争が始まるかわからないこの時に、又、国内的にみれば、政治の腐敗と国民生活の貧困とが踵を接しているこの年に、大人の仲間に加わるわれわれ青年若者は、どのような気持ちでそれに対処すべきであろうか。僕は自分自身「非凡なる凡人」

前述のウィルソンの言葉——これが自分の信条である。豊臣秀吉やナポレオンのような大英雄になる必要は、少しもない。人間社会の活動を円滑にするには、確かによりよい指導者が必要である。しかしそれ以上に、人間社会の大きな構成部分である一般市民が、よ

われわれの社会の発展のために努力する事が必要ではないのだろうか。自分の今までの生活をふりかえつてみると、終戦の翌年に錦華小学校に入学、そして三年のときには、近所で出た火事のために類焼のうき目にあつたが、六年間の小学校生活の後に、一ツ橋中学校へ進学、更に日比谷高等学校から東京大学と進んで、その間に、実社会に出て充分働ける人間としての基礎勉強をしているわけである。本当に大人の仲間に入るのは大学を卒業した時であるが、二十才になれば選挙権も与えられるし、世間から一応は大人としての待遇を受けると同時に、責任を求められ

るのである。そこで今、「平凡なる社会が常に産出し得る。そして平凡なる社会が常に要求する人物になりたい」と、心奥深く考える。若しこの事に一步でも近づけば、そして又このような人間が一人でも増えれば、それだけ社会が幸福になるのだからと思う。「非凡なる凡人」という意味を説明すると、常に健康で力いっぱい働けることが第一条件である。そして計画性と実行力が調和を有し、計画をたててこれを実行するに当つては、一定の順序の許に一步一步を着実に実行して、遂に目的を成就することだ。そして第三には、日本国民として、又郷土の人間として、他のひとびとと協力してよりよい社会を建設する気概に満ちあふれていることだと思ふ。

塩 と

乾 光 博 子

わが国では、二十才になると法律上、男女に拘りなく選挙権が与えられ、完全な大人として認められ、酒やタバコに至るまで自由に認められる。しかし、このようなことが、二十才になつた標識でないことは、云うまでもない。今までに私は、「早く大人になつて、世間のひとびとから一人前に取扱つてもらいたい。」と社会の一員としての存在を強く熱望したこともあつたが、又、一方では、「私はいつまでも子供で居たい。」と複

雑な大人の社会の中に入ることへ、云いしれぬ恐怖を感じたこともあつた。だが、今、ハイティーンを脱して、いよいよ、私も熱望していた大人、恐怖を感じていた大人を迎えるのだ。そして、これから私は、社会の連鎖された鎖の一輪のように、社会人として、大人のひとびとと関連するのであると思うと、急に、背中の上に大きな荷物を負わされたような感じがする。これは、私だけではなく今度二十才になる人達も感じている

のではないかと思う。そして、われわれ各々が、今迄の甘美な子供の世界から、現実と接して、人生の苦味を味わいつつ、死ぬまでの責任という大きな荷物を背負つて、坂道を登つて行くのである。それは、何回転げ落ちるかわからないであろうが、決して、くじけてはいけないのだ。又、転がるのが恐しくて、止まつていてもいけない。常に正しく進んで行く者は、必ず自己の坂道を登り切ると私は確信を持ちたい。庭のすみに転がっている。小さな石ころでも存在しているからには価値がありそれぞれの物の役目がある。況ん

自分はまだ大学一年生なので、将来どのような職業につくか、まだよく決つていないが、就職したときには、前述の「非凡なる凡人」となるために、又日本の発展と世界の平和のために、社会の一隅でも、力いっぱい働いてみようと思つている。そのためには大学時代は、いろいろの面で大いに勉強し、われわれ青年の若さをみなぎらせ、多くの経験を積んでおきたいと思う。二十才になる年を迎えて新たな気持ちで進みたいと、必ひそかに期するのである。

(四頁下段へ)

区立
幼稚園

二月二日から園児募集

区教委及び区立幼稚園では、本年度区立幼稚園の園児募集を次のとおり行なう。

受付期間 二月二日(月)から
十日(火)まで、但し日曜日

を除く。毎日午後一時～四時。
受付場所 各幼稚園。
通園区域 小学校の通学区域と同じ。

就学児予備身体検査

この春小学校に入る児童の予備身体検査と知能テストが、1月13日の小川小学校を皮切りにはじめられました。お母さんに手を引かれて、初めて学校の門をくぐり、校医さんの診断や、体重測定を受けるこどもたちは、いつもとは一寸緊張気味、それでも、知能テストの先生から、「ハイ、よくできました」と頭を撫でられると、得意げに、顔をほころばせていました。

(写真は1月12日小川小学校で)



現在、家庭用お米の配給基準量が、一日一人あたり精米三六五グラムとなつております。この為、配給のつ

お米の配給がキロ単位になります

どキロ未満の端数が出て、計量及び配給値段の計算にお米屋さんの業務が面倒となり、またこ

家庭の皆さんも、配給量や配給値段をたしかめるのに困難でした。これらの点をもつとも判りやすくする為に、昭和三十四年二月一日から、キロ単位(四捨五入)でお米を配給することになりました。

十二月
十四日 内濠駅伝大会

第九回千代田区内濠一周駅伝大会が、来る二月十四日、午後一時半発走で行なわれる。

集合 二月十四日午後十二時半

区役所前

コース 区役所前(スタート)―

九段上―三番町―半蔵門―

三宅坂―桜田門(中継点)―

清麿呂公園―竹橋―区役所

(中継点)

資格 ヲ一般 区内在住、在勤

で、職域は職場単位のクラブチ

ーム▽高校 区内高校単位▽地

域青年 千青協加盟団体▽中学

区内中学校単位。

申込 二月十日までに、区教委

体育係へ申込む。

(公会堂催し)

(一月)

二十五、三十一日手藝座公演(夜)

(二月)

一日 婦人問題研究会本部(午前午後)

三日 日大工学部音楽会(夜)

五・六日 都教委主催中学校学芸

会(午前・午後)

七日 気象庁文化祭(午後・夜)

八日 石井バレー団研究発表会

(午後・夜)

十二日 安田海上火災文化祭(午

後・夜)

十四日富士電機文化祭午前(夜)

十六、十七日 都教委主催小学校

学芸会(午前・午後)

(三頁から続く)

や、われわれの社会一員としての存在は、価値があり意義があることは当然である。

私は、今われわれが入るべき社会を、目の前にして考えてみると

その中に存在しているひとびとの

多くが、物質の奴隷となり、又は

精神的なものの奴隷となつてい

ように思われる。生活に追われて

いる人は、その中に自己を見い出

すことができません。生活の奴隷にな

つてしまひ、勉強に追われている

学生は、自己の向上の為に勉強す

るのではなく、勉強の為に自己を

費やしつゝ、勉強の奴隷になつて

いる。又、ある国とある国のひと

びとは、原水爆の実験をはじめと

して、月ロケットに至るまで、莫

大なお金をかけ、自己を忘れて自

国の奴隷になつていよう。

このように、私が今入ろうとして

いる世界には、いかに人間の自己

本質を失いつつ、自己本位的なひ

とびとが多いことであろうか、そ

れは、すべての者が愛を持たない

からなのだと、私は考える。もし

今の社会に愛が存在するならば、

国同志の冷たい戦争もなくなるで

あらうし、原水爆の実験もなくな

るであらう。私が、今すべての人

から愛されていると仮定するなら

ば、非常に幸福に感じるであらう

ように、世間のひとびとが、お互

いに、愛し合えば、各々が幸福に

なるのではないかと思う。このよ

うに、今の社会には、愛が大切に

千代田区の人口 (1月1日現在)

		前	月	本	月	差	引
						増	減
世帯数		26,006		26,029		23	—
人口	男	67,980		68,261		281	—
	女	52,790		52,826		36	—
	計	120,770		121,087		317	—

区民税第4期分

1月31日まで

お支払は

区役所税務課又は出張所
銀行・郵便局・信用金庫へ

と思う。特に愛を忘れている大人達には、私は、成人するにあたつて、常にこの愛を持ち、そして、この愛をひとびとに撒いて行きたいと思う。私は、キリストが、汝は地の塩なり、光なり、と云われたように、今度二十才を迎えるひとびとと共に、塩となつて、罪に汚れた現実社会の腐敗を防ぎ、光となつて、暗闇の中を照らして、進んで行きたいと思う。